

# 次世代育成支援対策行動計画の実施状況（平成19年度の報告）

## 次世代育成支援対策行動計画とは・・・

次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成を目的とする「次世代育成支援対策推進法」が平成15年に制定されました。この法律では、平成17年度から26年度までの10年間に於いて、各市町村が取り組むべき施策を「市町村行動計画」として策定し、それに基づき、推進していくものとされています。

菊川市でも、平成17年に市の行動計画として「親と子の笑顔あふれる菊川子育てプラン」を策定し、その推進を図っています。

なお、計画は10年間でありますが、中間である5年をもって、計画の見直しをすることとなっており、前期（平成17～21年度）、後期（平成22～26年度）に分けられます。

## 行動計画の実施状況について

次世代育成支援対策推進法では、行動計画の実施状況について、毎年公表することが市町村に義務付けられています。菊川市では、市の前年度決算が確定した後に、行動計画の実施状況を取りまとめ、「次世代育成支援対策地域協議会」への報告を経て、市ホームページに掲載し、公表することとしています。

今年度は、平成20年10月8日に協議会を開催し、報告を行いました。

### 次世代育成支援対策推進法（平成15年7月16日 法律第120号） 抜粋

第1条 この法律は、我が国における急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化にかんがみ、次世代育成支援対策に関し、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体、事業主及び国民の責務を明らかにするとともに、行動計画策定指針並びに地方公共団体及び事業主の行動計画の策定その他の次世代育成支援対策を推進するために必要な事項を定めることにより、次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、もって次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成に資することを目的とする。

第8条 市町村は、行動計画策定指針に即して5年ごとに当該市町村の事務及び事業に関し、5年を1期として、地域における子育ての支援、母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進、子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備、子どもを育成する家庭に適した良質な住宅及び良好な居住環境の確保、職業生活と家庭生活との両立の推進その他の次世代育成支援対策の実施に関する計画（以下「市町村行動計画」という。）を策定するものとする。

2 市町村行動計画においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- 一 次世代育成支援対策の実施により達成しようとする目標
- 二 実施しようとする次世代育成支援対策の内容及びその実施時期

3～4（略）

5 市町村は、毎年少なくとも1回、市町村行動計画に基づく措置の実施の状況を公表しなければならない。

6 （略）

# 菊川市次世代育成支援行動計画実施状況【平成19年度実績】（概要版）

## 1. 「地域で支援 楽しく子育てできるまち」（地域における子育て支援）

保育所（家庭での保育に欠ける就学前児童の保育）・・・市内10園  
・延長保育、一時保育、地域活動事業の実施  
放課後児童クラブ（対象：小学1～3年生）・・・7クラブ（8箇所）  
ファミリーサポート・・・提供会員5名、依頼会員 22名  
児童館・・・年間利用者＝菊川児童館29,504人、小笠児童館17,499人  
母親クラブ・・・3団体（94人）  
地域子育て支援センター・・・1箇所 2箇所（小笠センターを独立）  
・子育て相談、すくすくひろば（移動開催）、講習会開催  
家庭児童相談・・・延相談件数2,503件  
新生児・乳児などの訪問指導・・・469件  
情報の提供（子育て情報、健診・相談等の日程告知）

## 2. 「明るく元気な子を産み育てられるまち」（母性、乳児及び幼児等の健康の増進）

妊婦健診の助成（前期受診率：100.2% 後期受診率：84.1%）  
予防接種（ポリオは集団接種、他は個別接種。接種率：64～100%）  
乳幼児家庭訪問（出生時、第1子は全戸訪問、第2子以降は希望者。）  
小学校参観会等での食育指導＝7小学校  
医療機関の状況（産婦人科・小児科）  
・市立病院産婦人科（2名の常勤と非常勤で対応）  
・他の市内産婦人科医療機関（1医療機関）  
・市立病院小児科（2名の常勤と非常勤で対応）  
・他の市内小児科医療機関（6医療機関）  
乳幼児医療費助成（小学校就学前児童の医療費の助成。）55,609件

## 3. 「子どもがいきいきと学びあえるまち」

（子どもの心身のすこやかな成長に向けた教育環境の整備）

次世代の親教育（プレママサロン及びプレママ・パパサロン）12回、166人  
療育教室「げんきっこ」。20回、延287人  
子育て講座（4回79人）  
子どものボランティア体験（延参加人数2,307人）  
子どもの体験教室など（体験セミナー、地域文化体験教室）  
地域子ども教室推進事業（4教室、137回、参加児童409人）  
スクールカウンセラーの充実  
人づくりフェスタ開催、青少年街頭生活指導  
図書館活動（ブックスタート事業、読み聞かせ活動、親子読書の集い）  
児童のスポーツ振興（スポーツ少年団活動、各種大会の主催、共催、後援）

## 4. 「子どもが伸びやかに育ちまち」（子育てを支援する生活環境の整備）

道路の安全設備（歩道、ガードレール、転落防止柵、カーブミラー）の設置  
自治会と連携して防犯灯設置（105灯設置）  
公園の充実（新設整備、安全対策）  
図書館の児童向け蔵書の充実

## 5. 「子どもの安全を地域みんなで見守るまち」（子どもの安全の確保）

児童の交通安全推進（街頭指導、交通安全教室、通学路点検）  
スクールガード、子ども110番の家、不審者対応訓練

## 6. 「働きながら 安心して子育てできるまち」（職業生活と家庭生活との両立の推進）

子育て支援体制の充実（保育園、放課後児童クラブ）  
父親の子育て参加促進（プレママ・パパサロン、お父さんの子育て手帳）

## 7. 「子どもの権利を大切にすまち」

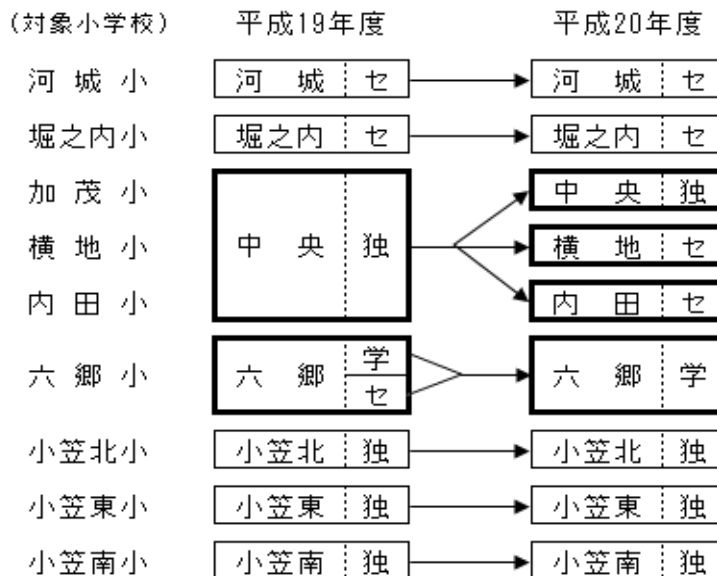
### (要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進)

要保護児童対策地域協議会（個別ケース検討会：129ケース：89回）  
 発達相談（延132名）  
 市内幼稚園、保育園の訪問（全17園、年3回）  
 療育教室「げんきっこ」（参加延人数287人）  
 市就学指導委員会4回、巡回相談41回（延96人）  
 私立保育園に障がい児保育補助金。  
 心身障害児放課後対策事業（たんぼぼ818回、ふれんずつばさ1465回）  
 就学援助（学用品費、給食費等）=小学生68人、中学生55人

## 8. 「温かなサービスで子どもを産みたくなるまち」(各種支援サービス)

障がい児支援に係る各種手当  
 児童手当（小学校6年までの児童を養育する保護者に支給）  
 第1、2子=5,000円、第3子以降=10,000円、3歳未満は10,000円  
 支給対象者=3,180人（H20年2月支払件数）  
 私立幼稚園への就園奨励費（対象園児=254人、18,661,800円）  
 子育て優待カード事業（継続実施）

### 【参考】放課後児童クラブの再編



※独：独立棟、セ：地区センター内、学：小学校内

# 菊川市次世代育成支援行動計画実施状況【平成19年度実績】（詳細版）

## 1. 「地域で支援 楽しく子育てできるまち」（地域における子育て支援）

区分		取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
1-1.地域における子育て支援サービスの充実	1-1-1.公共施設の利便性向上と活用	1-1-01-1 幼稚園や保育所などを地域に開放し、高齢者と子どもとのふれあいの機会づくりを提供する(保育所地域活動世代間交流)	・地域の方々を招いて交流をしたり、地域に出掛けたりして、ふれあいの機会を増やした。また、授業で地域の人材を活用したり、地域の素材で学ぶ機会を工夫したりしてきた。幼稚園では地域への公開保育を積極的に行った。(学校教育課) ・保育所地域活動事業 実施:9園 補助額:1,350,000円(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
		1-1-01-2 地域の地区センターや公会堂を開放し、子どもの遊びや勉強スペースとして活用する	・地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。昨年同様、放課後子ども教室の実施に協力した。また、小中学生が気軽に立ち寄れる環境作りに努めた。(宿泊体験学習実施箇所:6地区センター)(地域支援課) ・放課後子ども教室の活動場所として地区センターを利用34回(社会教育課)	地域支援課 社会教育課
1-1-2.地域で子育て支援できるような環境づくり	1-1-02-1 地域、学校、家庭が連携を取り交流できる機会づくり	1-1-02-1 地域、学校、家庭が連携を取り交流できる機会づくり	・学校行事や授業参観などの機会に、保護者をはじめ地域の方々に公開し、学校教育への理解を深めると共に、意見を聴取して連携を深めた。(学校教育課) ・放課後の居場所として地区センターを開放。3箇所:河城地区センター、西方地区センター、横地地区センター(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
		1-1-02-2 核家族の増加による地域コミュニケーション不足に対応するための交流機会づくり	・地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。(宿泊体験学習実施箇所:6地区センター) ・地区センターにおいて地域住民がふれあうイベントを企画し、実施した。	地域支援課
1-1-3.活動への積極参加ができない母親へのフォロー	1-1-03-1 訪問指導	1-1-03-1 訪問指導	・新生児・乳児を持つ家庭や育児不安の強いケース・育てにくさのある子どものケース等に訪問活動を行った。また、必要に応じ妊婦にも訪問活動を行った。 訪問件数=469件	健康福祉課
		1-1-03-2 電話連絡	・育児不安の強いケースや健診未受診のケースに電話にて受診勧奨や状況確認等を行った。また、電話による相談の受付も実施した。	健康福祉課
		1-1-03-3 母親のストレス解消の場として、同世代が交流、話し合いできる場の提供(児童館事業)	・児童館利用者・・・菊川児童館=29,504人/年、小笠児童館=17,499人/年	こどもみらい課 児童館

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
1-1-4.子どもに関するイベントの開催時期の配慮	1-1-04-1 働いている親が気軽に参加できるための、休日のイベント開催	・5月11日曜日に親子のふれあいの場を創造するため「親子のつどい」開催	こどもみらい課
1-1-5.各種相談や教室の開催時間や曜日の配慮	1-1-05-1 妊娠時に学べる出産や子育てに関する教室	・妊婦教室(プレママサロン)の実施。栄養士、歯科衛生士、助産師、保健師による生活指導、栄養支援、出産準備やグループワーク。延参加数88人(託児6名)	健康福祉課
	1-1-05-2 働いている人に配慮した夜間や休日の子育て教室の開催時期の見直し	・夜間に両親教室を3回実施。参加者数39組(78名)	健康福祉課
1-1-6.携帯メールなど多様なメディアを活用した子育て情報の提供	1-1-06-1 子ども用のサービス・情報の提供	・ホームページに子育ての情報を掲載した。	こどもみらい課
	1-1-06-2 予防接種や健診のお知らせをメールで提供する	・ホームページに各健診・相談等の日程を掲載した。(健康福祉課)	健康福祉課 企画政策課
	1-1-06-3 保育所や幼稚園の情報提供を行う	・子育て支援センターに市内保育園、幼稚園の情報提供をおこなった。 ・保育園、幼稚園入園申込みの一覧表を作成し、利用者の利便性を図った。	こどもみらい課
	1-1-06-4 子育てに関する様々な情報提供	・子育て支援に係る情報パンフレット「子育てナビ」を年度更新し、窓口、市内児童館、図書館等に備え置いた(2000部作成)。	こどもみらい課
1-1-7.相談員体制の充実	1-1-07-1 家庭児童相談室(家庭相談員の配置)による子どもの心のケア	・延相談件数:2,503件(内新規受付35件)	こどもみらい課
	1-1-07-2 気軽に相談できるような場所(安心して相談できる対応)の提供	・家庭児童相談室に家庭相談員を配置している。	こどもみらい課
	1-1-07-3 主任児童委員の研修育成	・19年度は未実施。	こどもみらい課

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
1-2.保育サービスの充実	1-2-1.通常保育の柔軟な対応	1-2-01-1	暖かくゆとりのある保育(保育士のゆとり・資質向上)	・市内保育士の合同研修の実施。(幼児施設連絡会主催)	こどもみらい課
		1-2-01-2	待機児童の解消	・待機児童は0である。	こどもみらい課
	1-2-2.延長保育への対応	1-2-02-1	延長保育への対応	・延長保育実施園:4園 24,114,000円	こどもみらい課
		1-2-02-2	18:00以降の私立保育所での延長保育の対応(一部3～5年で実施)	・延長保育実施園:4園、月平均利用延人数:63名、補助金額:24,114,000円	こどもみらい課
	1-2-3.ニーズに合わせた休日保育の導入	1-2-03-1	サービス業に対応した土日の保育(1園)	・未実施(平成21年度～実施予定)	こどもみらい課
1-2-4.増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実		1-2-04-1	未実施学校への学童保育の導入	・7クラブ8箇所のクラブの開設があり、市内全小学校を対象に開設した。	こどもみらい課
		1-2-04-2	緊急時気軽に利用できる学童保育	・通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童を受け入れた。	こどもみらい課
		1-2-04-3	夏休み等の預かり	・短時間パートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受入れをした。	こどもみらい課
		1-2-04-4	学童保育の充実	・指導員研修を年11回実施した。	こどもみらい課
1-2-5.気軽に利用できる一時保育体制の強化(9園)		1-2-05-1	一時保育所の追加	・合計10園で実施した。延人員:1,690人	こどもみらい課
		1-2-05-2	気軽に利用できる一時保育	・利用の理由を制限せず保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
		1-2-05-3	緊急時に利用できる一時保育	・前日の申込みでも保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
		1-2-05-4	リフレッシュのための一時保育	・利用の理由を制限せず保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
1-2-6.ファミリーサポートセンターのピー・アールと利用促進		1-2-06-1	ファミリーサポートのピー・アール(ホームページ等)	・相談に来る保護者へパンフレット等を配布した。利用拡張のため、児童手当現況届会場や、公的機関にポスターを掲示した。	こどもみらい課
		1-2-06-2	ファミリーサポート受け入れ側の人員の育成。依頼者の募集・登録(掛川広域で対応)	・会員状況・・・提供会員:5名、依頼会員 22名	こどもみらい課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課	
1-2-7.地域子育て支援センターの機能強化	1-2-07-1 地域子育て支援センターの機能強化	・相談業務のほか、移動子育て支援センター「すくすくひろば」を開催した。相談業務(電話11件、来館相談123件) 子育て及び子育て支援に関する講習(14回:572人) 公民館等に出向いての地域支援活動「すくすくひろば」(37回:1154人)	こどもみらい課 子育て支援センター	
	1-2-07-2 小学生への対応	・未実施	こどもみらい課 子育て支援センター	
1-3.子育て支援のネットワークづくり	1-3-1.子育てサークル(母親クラブ)の充実	1-3-01-1 補助金交付による活動の充実	・市内3団体の申請より補助金 528,000円を交付した。 会員総数:94名	こどもみらい課 児童館
		1-3-01-2 子育て支援情報の提供	・子育て情報ナビを作成し、窓口や市内各施設等に配布した。また、市内児童館情報専用コーナーを設け、保育園・幼稚園情報等を提供した。	こどもみらい課
	1-3-2.地区センターや地域の公民館など既存施設の活用	1-3-02-1 地区センターや地域の公民館など既存施設の活用	・子育て支援センターによる「すくすく広場」を行う場所として地区センターを貸し出した。(8地区センターにおいて合計約40回の実施)	地域支援課

## 2. 「明るく元気な子を産み育てられるまち」(母性、乳児及び幼児等の健康の増進)

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課	
2-1.子どもや母親の健康の確保	2-1-1.子どもや母親の心のケア	2-1-01-1 不妊治療に対する医療費助成(県事業)	・県事業の周知・案内の実施。	健康福祉課
		2-1-01-2 妊婦健診の助成	・個別健康診査方式で、受診券を発行し、各委託医療機関への受診を勧めた。 妊娠前期・後期の2回実施し、出産予定日に年齢が35才以上になる妊婦には、後期に超音波検査を助成した。(前期受診率:100.2% 後期受診率:84.1%)	健康福祉課
	2-1-2.健診や予防接種での配慮	2-1-02-1 お知らせをホームページに掲載(再掲)	・ホームページに各健診・相談等の日程を掲載した。	健康福祉課
		2-1-02-2 予防接種の集団接種・個別接種	・ポリオは集団接種、その他は個別接種で実施。接種率:64～100%	健康福祉課

	区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
	2-1-3.訪問サービスと保健師の資質向上	2-1-03-1 乳幼児家庭への家庭訪問	・出生時、第1子には全戸訪問、第2子以降は希望者に実施した。(207件) また、療育・健診関係では61件実施した。	健康福祉課
		2-1-03-2 保健師の資質向上	・担当ケースの処遇等について共有して話し合いをもった。研修等へも参加した。 母子関連の会議等に22回参加した。	健康福祉課
2-2.食育の推進	2-2-1.食育指導の実施	2-2-01-1 参加の呼びかけ、料理教室、離乳食教室、食育講演会など	・離乳食教室12回実施。(出席率34.6%) ・児童館と共催の料理教室実施。(親子料理教室3回・子どもクッキング教室4回・コロコロタイム4回) ・北小こども教室15回実施	健康福祉課
		2-2-01-2 参観会等での食育指導	・市内の希望する小学校に実施(7小学校)	健康福祉課
2-3.子どもを取り巻く健康被害の防止	2-3-1.母体と子どもの保護	2-3-01-1 母親の飲酒、喫煙などに対する指導、受動喫煙、胎児への影響などを指導	・母子手帳交付時にアンケートにて喫煙の有無を聞き取り指導を実施。	健康福祉課
		2-3-01-2 子どもの前でたばこを吸わないよう指導	・幼児健診・相談の個別指導の場で指導を継続して実施した。	健康福祉課
	2-3-2.公的な場所等での分煙	2-3-02-1 公的な場所等での分煙	・プラザげやきにて、来庁者のことを考慮し18年に定めた喫煙場所を移動させた。	健康福祉課
	2-3-3.公園、スポーツ施設等の分煙	2-3-03-1 公園、スポーツ施設等の分煙	・引き続き体育館利用者に館内禁煙の呼びかけ及びポロポロの禁煙表示の貼替。(施設管理課)	健康福祉課 施設管理課
2-4.小児医療の充実	2-4-1.産科医の確保	2-4-01-1 産科医の確保	・産婦人科医院 1医療機関 ・市立病院産婦人科 2名の常勤と非常勤で対応	病院
	2-4-2.小児科の確保	2-4-02-1 小児科の確保	・小児科医院 6医療機関 ・市立病院小児科 2名の常勤と非常勤で対応	病院
	2-4-3.夜間救急医療体制の充実	2-4-03-1 夜間救急医療体制の充実	・医師会の夜間救急医療体制を広報に掲載。 ・市立病院で夜間救急患者の受け入れ。 ・コンビニ利用の抑制啓蒙	病院
	2-4-4.子どもの健康状態に対応した助成の充実	2-4-04-1 乳幼児医療費等の支援(就学前まで)	・小学校就学前までの児童の医療費の一部を助成。 H19扶助費:83,526,053円 件数:55,609件	こどもみらい課
2-4-04-2 小児慢性特定疾患児に対する日常生活用具の給付		・平成19年度は実勢なし	こどもみらい課	

### 3. 「子どもがいきいきと学びあえるまち」(子どもの心身のすこやかな成長に向けた教育環境の整備)

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
3-1.次代の親教育	3-1-1.次代の親へ結婚、出産、育児の楽しさを伝える教育の導入	3-1-01-1	妊娠期間中の親育て講座の開催	・ブレママサロン及びブレママ・パパサロンの実施(年間12回、延166人参加)	健康福祉課
		3-1-01-2	ブレママ・ブレパパサロンでの父親の子育て参加指導	・ブレママ・パパサロンの実施(年間3回、39組78人参加)父親の育児参加を勧めた。	健康福祉課
	3-1-2.乳幼児と小中高生のふれあいの機会提供による時代の親づくり	3-1-02-1	ボランティアや職業体験などでの保育所、幼稚園訪問	・中学校家庭科やボランティア活動で保育体験を実施した。また、総合的な学習の時間、生活科、学校行事や各種交流活動等を活用し、保育園や幼稚園の訪問を実施した。	学校教育課
3-2.家庭や地域の教育力の向上	3-2-1.育児の大変さ以上に楽しさを感じられるような親の意識改革	3-2-01-1	子育ての楽しさを知る機会の提供	・療育教室「げんきっこ」の実施。実施回数を20回実施。延参加者数:287人 ・離乳食教室での託児。実施回数12回、託児89人。 ・健診、健康相談などの育児相談時には個々の対応に努めた。(健康福祉課)  ・講演会や懇談会において、子育てについての学習や啓発を行い、子育ての楽しさや重要性等について学び合う機会を設けた。(学校教育課)	健康福祉課 学校教育課
		3-2-01-2	子どものしつけについての学習の機会(健診時個別相談で対応)	・健診時の個別相談にて個々に合った指導を実施。	健康福祉課
		3-2-01-3	子どものしつけについての学習の機会(教育講演会・2歳児子育て教室)	・実施なし	健康福祉課
		3-2-01-4	家庭教育学級の参加促進(子育てや子どもへのしつけ以前に親育てが必要)	・家庭教育の知識や親の役割を学習する機会の提供・家庭教育学級推進事業(通年/幼・保・小・中27学級)	社会教育課
	3-2-2.時代と共に移り変わる育児方法を祖父母世代へビー・アール	3-2-02-1	最近の子育ての仕方、食育、孫との接し方、怪我や病気への対応、子どもの発する救難信号の見分け方などについて指導する。(女性の会、寿大学などでの提供)	・健診時の個別相談や健康相談等で個々に合った指導を実施。(健康福祉課) ・子育て支援センターや児童館主催の「子育て講座」「コロコロタイム」「親子クッキング」等で子育てや食育の講話・実習を実施した。「子育て講座」4回79人、「コロコロタイム」8回128組、「親子クッキング」3回54人、「児童館クッキング」4回92人、「双子の会」2回17人(健康福祉課)	健康福祉課 社会教育課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
3-2-3.子どもが地域活動に関われる子ども会の確立	3-2-03-1 子どものボランティア体験など	・ボランティア活動推進事業:ボランティア活動センター設置(延参加人数2,307人)	社会教育課
3-2-4.季節に応じた行事開催による体験の場の提供	3-2-04-1 季節に応じた行事開催による体験の場の提供	・わくわく体験セミナー(8/18～8/20、静岡県立朝霧野外活動センター、小中学生45名参加、宿泊体験・野外炊飯・ウォークラリー等) ・地域文化体験教室 夏・冬参加延べ80人	社会教育課
	3-2-04-2 子どもに遊びを教える大人の養成	・地域子ども教室推進事業 放課後の学校施設を活用し、地域住民と子どもたちの交流活動を推進し、193名のボランティアが参加した。(4教室/137回/参加児童409人)	社会教育課
3-3.子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境の整備	3-3-01-1 幼稚園の預かり保育	・私立園2園で実施 中央幼稚園:15:00～17:30 15分/50円 長期休暇中も実施(H19～実施) 堀之内幼稚園:降園～16:30 1時間/200円 長期休暇中も実施予定(H20～実施予定) ・公立園は未実施(平成22年度～実施予定)	学校教育課 こどもみらい課
	3-3-01-2 幼稚園での学校行事に伴う一時保育	・私立園2園で実施 就園児の兄弟の預かり保育は園と要相談 保育園の緊急一時保育制度を利用 ・公立園は未実施(平成22年度～実施予定)	学校教育課 こどもみらい課
	3-3-01-3 保護者を中心とした家庭での教育推進	・講演会や懇談会において、子育てについての学習や啓発を行った。また、個別に家庭での過ごし方についての相談を受けた。さらに、最近はインターネットや携帯電話の普及により家庭での対応が特に重要性を増していることを訴えた。	学校教育課
	3-3-01-4 地域社会との連携	・授業で地域人材の活用をしたり、地域での活動を取り入れたりする努力をした。また、地域の人々に活動を公開したりすることで、地域との連携を深めた。さらに、児童生徒の地域行事等への参加を進め、地域との連携を図った。	学校教育課
	3-3-01-5 行政による幼児教育への関わり	・「幼児施設連絡会」で市内の幼稚園教諭、保育士の資質向上を図った。	こどもみらい課
	3-3-2.保護者を中心とした家庭での教育を推進	3-3-02-1 保護者を中心とした家庭での教育を推進	・講演会や懇談会において、子育てについての学習や啓発を行った。また、個別に家庭での過ごし方についての相談を受けた。さらに、最近はインターネットや携帯電話の普及により家庭での対応が特に重要性を増していることを訴えた。

区分	取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
3-3-3.地域社会と連携した幼稚園づくり	3-3-03-1	地域社会と連携した幼稚園づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で地域人材の活用をしたり、地域での活動を取り入れたりする努力をした。また、地域の人々に活動を公開したりすることで、地域との連携を深めた。さらに、園児の地域行事等への参加を進め、地域との連携を図った。(学校教育課)</li> <li>・地域人材の活用や地域での活動を取り入れたり、地域の人々に活動を公開することで、地域との連携を深めた。(こどもみらい課)</li> </ul>	学校教育課 こどもみらい課
3-3-4.公私幼稚園、保育園・小学校などとの連携強化	3-3-04-1	公私幼稚園、保育園・小学校などとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、幼稚園、小学校との連絡会を開催し、綿密に情報交換を行った。また、全保育園・幼稚園・小学校・中学校合同で研修会を実施し、子どもへの支援等についての研修を行った。(学校教育課)</li> <li>・幼児教育の推進及び市内の幼稚園教諭、保育士の資質向上を図るため「幼児施設連絡会」で、実技研修や情報交換を行った。(こどもみらい課)</li> </ul>	学校教育課 こどもみらい課
3-3-5.幼保一元化の検討	3-3-05-1	幼保一元化の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保施設整備計画策定会議(事務局会議5回、作業部会4回、審議会2回等、延20回以上の会議)を開催し、「菊川市幼保施設整備計画(基本方針)」を策定した。(こどもみらい課・学校教育課)</li> <li>・保育園入園や幼稚園入園手続きの窓口を一元化し市民の利便性が図られた。</li> </ul>	学校教育課 こどもみらい課
3-3-6.だれからも信頼される学校づくりだれからも信頼される学校づくり	3-3-06-1	だれからも信頼される学校づくりだれからも信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営及び教育方針(グランドデザイン等)について、PTA総会での説明や学校だよりを通して理解を深めた。また、学校教育の取組やその成果について、児童生徒・保護者をはじめ外部からも評価を受け、指導に生かした。</li> </ul>	学校教育課
3-3-7.基礎基本をしっかりと学べる教育の充実	3-3-07-1	基礎基本をしっかりと学べる教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校が、授業改善を重点においた研修に取り組み、授業研究の日常化や外部講師の招聘などの努力をしている。「つけたい力」を明確にした指導を進めた結果、全国学力・学習状況調査においても、全国平均を上回り、静岡県平均と同レベルにあることがわかった。</li> </ul>	学校教育課
3-3-8.豊かな感性と健やかな心の育成	3-3-08-1	豊かな感性と健やかな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が子ども理解に努め、不登校や問題行動、いじめを最小限度にとどめてきた。その結果、不登校が前年比25%減少した。また、「本物の舞台芸術体験事業」「トップアスリート派遣指導事業」など、子供たちが「本物」に触れる取組を推奨した。</li> </ul>	学校教育課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
3-3-9.家庭・地域社会と連携を密にした開かれた学校の推進	3-3-09-1 家庭・地域社会と連携を密にした開かれた学校の推進	・開かれた学校をめざし、学校公開や情報発信(たより・HPなど)により学校教育への理解を深めた。校内に「地域交流」の部屋を設置したり、授業での交流や講師・学校ボランティア等を依頼したりした。	学校教育課
3-3-10.社会情勢の変化に対応していく学校	3-3-10-1 社会情勢の変化に対応していく学校	・菊川市情報教育委員会において、情報教育の推進や問題点(インターネットや携帯電話の普及による問題への対策)について研修した。また、特別支援教育については、関係機関との積極的な連携を図った。さらに、外国人の人口比率が県下トップの菊川市としての対応策についても対応策を検討した。	学校教育課
3-3-11.児童、生徒の心のケア	3-3-11-1 思春期の悩み、いじめ・不登校、進学など多くの悩みに対応する体制・サービス	・3中学校それぞれに1人ずつ、心の教室相談員を配置するとともに、主に中学校に派遣されていたスクールカウンセラーを小学校にも派遣することにより、児童生徒や保護者の相談体制を強化した。また、中央公民館において専門家による「特別支援教育における教育相談」を実施し、保護者からの相談に対応した。	学校教育課
	3-3-11-2 色々な悩み、相談についてメールでの対応	・未実施	学校教育課
	3-3-11-3 教育相談員の研修(小中学校)	・保護者の悩みの相談対応や支援についての研修(特別支援教育コーディネーター研修会)を実施した。	学校教育課
	3-3-11-4 スクールカウンセラーの活用	・主に中学校に派遣されていたスクールカウンセラーを、小学校にも派遣することにより、児童生徒・保護者・教師等の相談に応じる体制を強化した。	学校教育課
	3-3-11-5 家庭児童相談室との連携	・要保護児童対策地域協議会やケース会議に積極的に出席し、こどもみらい課や関係機関との連携を強化している。(学校教育課) ・要保護児童対策地域協議会と、必要に応じてケース会議に出席している。(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
3-3-12.子どもたちの心が豊かになるような土日の過ごし方提案	3-3-12-1 自然体験やボランティア体験などの機会の提供	・ボランティア活動推進事業:ボランティア活動センター設置(延参加人数2,307人) ・地域文化体験教室 夏冬2回開催 ・わくわく体験セミナー 再掲3-2-3、3-2-4	学校教育課 社会教育課

区分		取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
3-4.思春期保健対策	3-4-1.思春期の心のケア	3-4-01-1 思春期の心のケア	・成人式にて性病予防のパンフレットの配布を行った。(健康福祉課) ・3中学校に1人ずつ、心の教室相談員を配置するとともに、主に中学校に派遣されていたスクールカウンセラーを小学校にも派遣することにより、児童生徒や保護者の相談体制を強化した。(学校教育課)	健康福祉課 学校教育課
		3-4-01-2 思春期講座	・菊西中から中3生に対しての性教育依頼があり、菊川病院助産師と共催で実施した。(健康福祉課) ・保健体育の授業として、第二次成長の中で指導をした。(学校教育課)	健康福祉課 学校教育課
	3-4-2.乳幼児とのふれあい機会の提供	3-4-02-1 総合的な学習の時間ならびにボランティア体験などの機会に保育所等で乳幼児とのふれあいの機会づくり	・中高生参加の赤ちゃん交流事業を児童館が実施した。延98人が参加した。	こどもみらい課 児童館
3-5.児童の健全育成	3-5-1.青少年健全育成の推進	3-5-01-1 次代を担う心豊かで健全な青少年の育成	・青少年健全育成市民会議各支部活動推進 8支部 ・人づくりフェスタ開催(11/18:アエル:255人参加) ・青少年街頭生活指導(7/18:70人、12/20:70人) ・青少年を非行から守るキャンペーン(7/2:菊川駅:80人) ・青少年声かけ運動参加促進(17人が新規に参加)	社会教育課
		3-5-01-2 家庭における教育の充実	・家庭の日啓発同報無線(毎月第3土曜日) ・テレビ寺子屋公開録画(9/27:アエル:200人) ・ブックスタート事業:436名:年12回 ・読み聞かせ活動の推進・・・おはなし会の開催年間延べ:1,534人(両図書館)、親子読書の集い:6/23:439人	社会教育課 図書館
		3-5-01-3 芸術・文化活動の振興・保護・活用に努める	・写生大会 5/27:出品310点:参加者520人:事業費150,000円 ・美術展 9/22～30:出品97点:来場者1,128名:300,000円 ・文化祭 11/3～4:芸能36団体:作品61団体+2個人:来場者3,000人:950,000円 ・書初展 1/26～27:出品2,347点:来場者1,300名:145,000円 ・夏休みゆかいな体験講座(文化協会主催事業)8/2～5:8講座:110人:89,500円 ・その他文化活動の支援	社会教育課
		3-5-01-4 生涯スポーツの奨励と、健康で活力あふれる人づくりの推進	・市スポーツ少年団交流会(3/8:185人:250,000円) ・少年野球第32回選抜菊川大会(11/11,11/17,11/18:32チーム:100,000円) ・小学生女子ソフトボール大会(11/11:8チーム:45,000円) ・第24回市長杯小学生バレーボール大会(4/22:36チーム:45,000円) ・第3回市長旗少年野球大会(4/7,4/21:9チーム:45,000円) ・スポーツレクリエーション大会(11/11:702人:257,018円)	社会教育課
3-5-2.子ども会活動の充実	3-5-02-1 子ども会活動の充実	・危険予知トレーニング応急手当講習会(5/20:140人参加)、ドッチボール大会(7/1:総合体育館:350人)、ウォークラリー(11/24:菊川運動公園:104人)	社会教育課	

#### 4. 「子どもが伸びやかに育ちまち」（子育てを支援する生活環境の整備）

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
4-1.良好な居住環境の確保	4-1-1.生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進	4-1-01-1	生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進	・潮海寺まちづくり推進協議会と協働により作成した潮海寺地区計画により、地区内の狭隘市道の整備を推進した。(都市計画課) ・通学路(赤土・和田・横地)において歩道設置をおこなった。(建設課)	都市計画課 建設課
		4-1-01-2	安心して外で遊べる環境づくり	・潮海寺地区内の防災公園整備計画に基づき、事業実施に向けて潮海寺まちづくり推進協議会と協議を行った。(都市計画課) ・生活関連道路改良整備を推進した(建設課) ・街路樹の管理や舗装整備、桜つつみの維持管理を行い安心・安全な環境づくりを行った。(建設課)	都市計画課 建設課
		4-1-01-3	公共トイレなどの改善	・公共施設の増改築時には、ハートビル法及び福祉のまちづくり条例等に適合するよう努めた。(都市計画課)	都市計画課
4-2.安全な道路交通環境の整備	4-2-1.道路の整備(安心して歩ける環境)	4-2-01-1	ガードレール、防護柵の整備	・道路からの転落防止のためガードレールや転落防止柵を設置して安心して生活できる環境づくりに推進した。ガードレールL=29.4m、転落防止柵等L=247.2m、道路区画線19路線設置し、交通事故防止の推進を図った。 ・通学路や道路の交差点における歩行者の安全を確保するためカーブミラーを設置した。(20基)	建設課
	4-2-2.街灯の設置	4-2-02-1	防犯灯の整備	・夜間歩行者が安心して通行できる環境(犯罪抑止)づくりのため、自治会より申請いただいた箇所を審査し、防犯灯の設置を実施。(105灯設置)	安全課
4-3.安全、安心なまちづくりの整備推進等	4-3-1.身近で遊べる公園の充実	4-3-01-1	身近で遊べる公園の充実	・自治会管理の児童遊園の遊具設置、撤去、修繕に対し補助金交付。4自治会:216,000円	こどもみらい課
		4-3-01-2	公園の整備	・潮海寺地区内の防災公園実施設計に基づき、潮海寺まちづくり推進協議会と協議し、具体的な設備の配置を決定した。(都市計画課) ・駅南土地区画整理事業地区内公園1箇所(2号公園A=350㎡)、南部第二土地区画整理事業地区内公園2箇所(西袋A=1800㎡・野添A=2400㎡)を整備した。(区画整理室)	都市計画課 区画整理室
		4-3-01-3	既存公園の遊具の安全対策	・委託料 809,970円(都市公園等遊具点検:28公園・219基・点検6回/年、都市公園等砂場大腸菌検査:9公園 検査1回/年)、修繕 756,000円(7公園・10基) (施設管理課) ・自治会管理の児童遊園の遊具設置、撤去、修繕に対し補助金交付。4自治会:216,000円(こどもみらい課)	施設管理課 こどもみらい課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
4-3-2.児童館の充実	4-3-02-1 行事の開催日数(同様の講座を数回開催する)と募集人員の増加	・人気のある講座は同様の講座を2回開催。	こどもみらい課 児童館
	4-3-02-2 気軽に利用できるような体制づくりと職員のフォロー	「児童館だより」の配付により利用者にPRした。	こどもみらい課 児童館
	4-3-02-3 小学生への対応	・土曜日を利用し遊び・体験の教室を開催。 ・長期休暇を利用した教室の開催。 ・小学生対象のボランティアサークルの開催。	こどもみらい課 児童館
4-3-3.図書館	4-3-03-1 子どもコーナーの充実	・児童書の購入(両館)による蔵書数の増 H18年度末:54,467冊 H19年度末:56,776冊(+2,309冊)	図書館

## 5. 「子どもの安全を地域みんなで見守るまち」(子どもの安全の確保)

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成19年度実績	担当課
5-1.子どもの交通安全を確保するための活動の推進	5-1-1.子どもへの声かけ等、地域で見守る安全対策	・四季の交通安全運動期間中に市内主要交差点や通学路(計47箇所)などで交通指導員による交通指導を行なった。また、年間通じ学校や幼稚園、保育所などで交通安全教室を開催し、交通安全指導を行なった。(安全課) ・「地域ぐるみの学校安全推進事業」を展開し、地域全体で子ども達を見守る取組を進めた結果、不審者による被害が激減した。(学校教育課)	安全課 学校教育課
	5-1-2.事故を未然に防ぐ安全運転ピー・アール	・警察署などと連携し、運転手へ安全運転の意識が高まるよう啓発・活動し、交通安全を呼びかけた。	安全課
	5-1-3.通学路の安全確保	・PTAや自治会を中心に、通学路等の交通安全点検に取り組み、危険箇所については、警察署及び各関係機関と協議し対応した。(安全課) ・各幼稚園・保育園、小・中学校において、保護者とともに通学路の危険場所を確認する安全学習に取り組んだ。また、CAPによる防犯教室や不審者対応訓練を実施した。(学校教育課)	安全課 学校教育課
5-2.子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	5-2-1.声かけ運動の推進	・各校で「ふれ愛さつ運動」を継続し、学年の保護者やPTA安全部などの組織を通じて、声かけ運動を実施した。(学校教育課)	学校教育課
	5-2-2.スクールガード・わんわんパトロールの全地域への普及	・「地域ぐるみの学校安全推進事業」を展開し、約150ある自治会から3名ずつスクールガードを出ていただくようお願いし、登下校時の見回り活動を行い、地域全体で子ども達を見守る取り組みができた。	学校教育課
	5-2-3.学校の安全対策強化	・「地域ぐるみの学校安全推進事業」を継続し、のぼり旗・ステッカー・タスキ等を購入。各地域に自治会を通じて配布し地域への協力を呼びかけた。 また、CAPによる防犯講習会や「子ども110番の家」挨拶回り、安全マップによる通学路の確認等、各校で工夫した安全教育を行った。 さらに、警察官OBであるスクールガードリーダーを3人配置し、それぞれが3中学校区内の小学校区をパトロールした。	学校教育課

## 6. 「働きながら 安心して子育てできるまち」(職業生活と家庭生活との両立の推進)

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
6-1.多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し等	6-1-1.企業が子育て夫婦に対して理解を示せる体制づくり	6-1-01-1	企業への働きかけ	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載による周知。 ・企業あてメールによるセミナー等開催の通知(商工観光課)	商工観光課 こどもみらい課
		6-1-01-2	育児休暇取りやすい環境づくり	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架によるの周知。(商工観光課)	商工観光課 こどもみらい課
	6-1-2.父親の子育て参加への呼びかけ(男女共同参画社会)	6-1-02-1	母子健康手帳交付時に父親の参加への呼びかけ	・母子手帳交付時に「お父さんの子育て手帳」の配布を行った。 ・プレママ・パパサロンのちらしの配布と参加の勧めを行った。	健康福祉課
		6-1-02-2	両親教室の開催	・プレママ・パパサロンの実施・・・赤ちゃん人形を使っての実習・年間3回39組78人参加	健康福祉課
6-2.仕事と子育ての両立の推進	6-2-1.企業が配慮する、仕事と子育てを両立する女性への子育て支援	6-2-01-1	女性の労働環境の整備	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架によるの周知。(商工観光課)	商工観光課 企画政策課
		6-2-01-2	保育支援体制の充実	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載によるセミナー等の周知。	こどもみらい課
	6-2-2.増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実(再掲)	6-2-02-1	未実施学校への学童保育の導入	・市内全校対象に7クラブ8箇所開設。	こどもみらい課
		6-2-02-2	緊急時気軽に利用できる学童保育	・通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童の受け入れが可能。	こどもみらい課
		6-2-02-3	夏休み等の預かり	・短時間パートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受け入れをした。	こどもみらい課
		6-2-02-4	学童保育の充実	・指導員研修を年11回実施した。	こどもみらい課

## 7. 「子どもの権利を大切にすまち」（要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進）

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
7-1.児童虐待防止対策の充実	7-1-1.虐待防止対策強化と発見時の対応ピー・アール	7-1-01-1	虐待防止対策強化と発見時の対応ピー・アール	・要保護児童対策地域協議会の開催。(代表者会議:1回、実務者会議:7回、個別ケース検討会:129ケース:89回) ・虐待防止月間に広報に虐待予防の記事を掲載。	こどもみらい課
	7-1-2.相談体制と保護の確立	7-1-02-1	相談体制と保護の確立	・要保護児童対策地域協議会の開催。(代表者会議:1回、実務者会議:7回、個別ケース検討会:129ケース:89回) ・虐待防止月間に広報に虐待予防の記事を掲載。	こどもみらい課
7-2.ひとり親家庭等の自立支援の推進	7-2-1.母子家庭の支援	7-2-01-1	母子家庭の支援	・自立支援教育訓練給付(支給件数:1件、給付額:37,699円)	こどもみらい課
	7-2-2.父子家庭の支援	7-2-02-1	父子家庭の支援	・家庭児童相談の実施	こどもみらい課
7-3.障害児施策の充実	7-3-1.各機関が連携し継続的に支援を行える体制整備と人材育成	7-3-01-1	障害を持つ子の支援と親のネットワークフォロー	・こどもを守るネットワーク(療育)にて関係機関で情報交換を実施。(年2回)	健康福祉課
		7-3-01-2	障害を持つ子どもの早期発見と継続的なケア	・めばえ発達相談員、在宅心理相談員による発達相談を実施。(実施延人数:132名) ・療育教室「げんきっこ」延287人参加。 ・市内幼稚園、保育園(全17園)を年3回、在宅心理相談員と保健師で訪問。継続支援ケース等について状況確認、今後の支援の方向性を検討、実施。(実施延人数:651人) ・おもちゃ図書館の開催、手をつなぐ育成会の支援。(社会福祉協議会)	健康福祉課 社会福祉協議会
		7-3-01-3	障害を持つ子の親への支援、カウンセリング	・療育教室「げんきっこ」の実施 参加延人数:287人 その中で親同士の交流や個別対応にて支援を行う。(健康福祉課)	健康福祉課 社会福祉協議会
		7-3-01-4	障害を持つ子の幼稚園、保育所、小中学校での受け入れ(就学指導員)	・心身に障害をもつ児童生徒の適正な就学指導を行うため、市就学指導委員会を4回開催した。そして、「特別な支援を必要とする児童生徒」について理解を深めるとともに、専門家や関係機関と連携し、41回の巡回相談等のべ96人に対して相談を実施した。また、特殊教育就学援助費を、国庫補助事業により支給した。(学校教育課) ・民間保育園に障害を持つ子の受け入れが加配のための補助金の支払いをした。(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
		7-3-01-5	障害を持つ子の放課後の充実と親の負担軽減(心身障害者放課後対策事業)	・たんぼぼ 818回 ・ふれんずつばさ 1465回	健康福祉課
		7-3-02-1	心身障害に対する大人の認識を改める	・個別対応時に関係者や家族へ啓蒙を行った。(健康福祉課) ・就学指導及び特別支援教育について、保護者に正確な理解を提供しようと努力した。各学校は学校だより等で、啓発活動も行った。(学校教育課)	健康福祉課 学校教育課

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
7-4.要保護・準要保護児童生徒への援助	7-4-1.要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり	7-4-01-1	要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり	・要保護・準要保護児童生徒の世帯に就学援助費を支給し、小学生68人、中学生55人の学用品費や給食費等の援助を行った。	学校教育課
		7-4-01-2	要保護・準要保護児童への支援	・要保護・準要保護児童生徒の世帯に就学援助費を支給し、小学生68人、中学生55人の学用品費や給食費等の援助を行った。	

## 8. 「温かなサービスで子どもを産みたくなるまち」（各種支援サービス）

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成19年度実績	担当課
8-1.経済的な支援	8-1-1.各種経済的補助の充実	8-1-01-1	児童手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児福祉手当件数:22件</li> <li>・重度心身障害児扶養手当件数:40件</li> <li>・特別児童扶養手当(障害児に対する手当):87件(健康福祉課)</li> <li>・被用者児童手当(年度末延受給者数:2,847名、支給額:106,955,000円)</li> <li>・非被用者児童手当(913名、33,430,000円)</li> <li>・特例給付(54名、2,000,000円)</li> <li>・被用者小学校修了前特例給付(5,960名、197,420,000円)</li> <li>・非被用者小学校修了前特例給付(1,928名、60,405,000円)(こどもみらい課)</li> </ul>	健康福祉課 こどもみらい課
		8-1-01-2	経済的な支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就園支援のため私立幼稚園への就園奨励費を補助。(こどもみらい課)</li> <li>対象人数:254人、補助額:18,661,800円(内訳=堀之内幼稚園/144名/10,424,900円、中央幼稚園/106名/8,037,600円、智光幼稚園/3名/172,500円、ひだまり幼稚園部/1名/26,800円)</li> <li>・子育て優待カード事業実施。(こどもみらい課)</li> </ul>	
8-2.行政サービスの充実	8-2-1.市民が気軽にサービスを利用できる環境をつくる	8-2-01-1	職員資質の向上	・地方公務員の育児休業に関する法律の一部改正を受け、この法律の改正に準じ、菊川市職員の育児休業に関する条例の一部改正を行なった。	総務課

## 特定14項目の実施状況(～平成19年度)

特定14項目とは、市町村が推進する次世代育成支援事業のうち、国が指定する14項目の保育サービス等の事業メニューです。特定14項目については、具体的な数値目標を設定し、毎年の実施状況を公表することが義務付けられています。なお、14項目すべての実施が必須ではなく、市町村が選択できるものです。菊川市では、現在5項目を指定しています。

事業名	事業内容	単位	目標値	実績値					
			21年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
通常保育事業	市内保育園10園(市立1園、私立9園)で実施中	児童数	人 1,050	人 1,004	人 1,049	人 1,064	人 1,053	人	人
延長保育事業	3か所で実施中	箇所数	4箇所	3箇所	3箇所	3箇所	4箇所	箇所	箇所
一時保育事業	保護者の労働、病気等により家庭で養育できない児童に対して、保育園等で一時的に児童の保育を行う	箇所数	10箇所	7箇所	7箇所	10箇所	10箇所	箇所	箇所
放課後児童健全育成事業(学童保育)	両親が共働き等で保護者がいない家庭の児童の放課後の安全確保と健全育成を目的に行う	箇所数	6箇所	4箇所	5箇所	8箇所	8箇所	箇所	箇所
地域子育て支援センター事業	子育ての不安等についての相談、子育てサークルへの支援及び気軽に集い、交流できる場の提供等地域の子育て家庭に対して支援を行う	箇所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	箇所	箇所

通常保育事業の実績値(保育園入園児数)は、毎年度3月1日現在人数。ただし、市内在住児童の市内及び市外保育園入園数。

上記以外の特定14項目	夜間保育事業、休日保育事業、特定保育事業、乳幼児健康支援一時預かり事業派遣型(病後児保育)、乳幼児健康支援一時預かり事業施設型(病後児保育)、子育て短期支援事業(ショートステイ)、子育て短期支援事業(トワイライトステイ)、ファミリーサポートセンター事業、つどいの広場事業
-------------	---

[資料] 幼稚園・保育園データ

保育所入所状況

平成19年度末(平成20年3月1日現在)

		入所児童数(下段は市外からの広域入所)							合計	定員	充足率	備考
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計				
私立	菊川保育園	6	16	21	23	28	23	117	127	110	1.06	
		0	2	2	2	1	3	10		110	1.15	
	愛育保育園	10	19	18	18	18	25	108	116	90	1.20	
		0	1	2	2	1	2	8		90	1.29	
	横地保育園	9	29	20	33	21	32	144	151	120	1.20	
		3	0	2	0	1	1	7		120	1.26	
	西方保育園	3	9	15	20	19	25	91	97	90	1.01	
		1	1	2	1	0	1	6		90	1.08	
	河城保育園	4	9	11	12	11	20	67	69	60	1.12	
		0	0	0	1	0	1	2		60	1.15	
双葉保育園	10	22	20	29	23	22	126	133	110	1.15		
	2	0	1	2	1	1	7		110	1.21		
ひかり保育園	7	16	21	18	17	17	96	101	90	1.07		
	0	2	1	1	1	0	5		90	1.12		
ひがし保育園	8	16	13	19	20	20	96	100	90	1.07		
	0	0	2	0	2	0	4		90	1.11		
みなみ保育園	6	19	13	14	12	13	77	92	90	0.86		
	1	4	5	3	2	0	15		90	1.02		
市立	内田保育園	2	11	14	21	29	20	97	102	90	1.08	
		1	0	1	1	1	1	5		90	1.13	
小計(市内10園)		65	166	166	207	198	217	1019	1088	940	1.08	
		8	10	18	13	10	10	69		940	1.16	
組合	牧之原保育園	0	3	2	7	9	7	28	28	28	1.00	
		0	0	0	0	0	0	0		(120)	1.00	
小計(市内10園+牧之原)		65	169	168	214	207	224	1047	1116	968	1.08	
		8	10	18	13	10	10	69		968	1.15	
広域外入所の	掛川こども園	0	1	0	1	0	0	2	4			掛川市
	よこすか保育園	0	0	1	0	0	0	1	2			掛川市
	千浜保育園	0	0	0	0	0	1	1	2			掛川市
	高松保育園	1	0	0	0	0	0	1	2			御前崎市
	神谷城保育園	0	0	0	0	1	0	1	2			島田市
(小計)		1	1	1	1	1	1	6	12			
合計		66	170	169	215	208	225	1053	1122	968	1.09	
		8	10	18	13	10	10	69		968	1.16	

充足率(上段 = 市内在住児の入園児数 ÷ 定員、下段 = 全入園児数 ÷ 定員)

幼稚園入園状況

平成19年度末(平成20年3月1日現在)

	堀之内	中央	加茂	小笠北	小笠東	小笠南	計
未満	3	13					16
3歳	60	37	26	36	23	17	199
4歳	72	53	28	35	33	16	237
5歳	70	46	39	42	31	24	252
計	205	149	93	113	87	57	704

入園率

入園率 = 登録人口に占める幼稚園・保育園への入園児童数。

	登録人口(H20.4.1)			入園児童数(H20.3月)			入園率 ÷
	合計	(日本人)	(外国人)	保育園	幼稚園	保+幼	
0歳	461	421	40	66		66	14.32%
1歳	445	403	42	170		170	38.20%
2歳	487	432	55	169	16	185	37.99%
3歳	489	437	52	215	199	414	84.66%
4歳	458	396	62	208	237	445	97.16%
5歳	482	433	49	225	252	477	98.96%
計	2,822	2,522	300	1,053	704	1,757	62.26%

(注)登録人口 = 住民基本台帳登録数(日本人) + 外国人登録数。国勢調査等の実態調査でのデータより若干多くなる傾向があります。